

共英製鋼株式会社

# 第82期 株主通信

2025年4月1日 ▶ 2026年3月31日



特集

海外グループ会社紹介／

## ベトナム鉄鋼事業編

### INFORMATION

## 「エシカルスチール×ウルトラマン」 の新CMを公開!

日々社会の課題と向き合う当社の取り組みや「エシカルスチール」に込めた想いを、ウルトラマンと従業員を重ね合わせて表現しています。当社公式YouTubeにて公開しておりますので、ぜひご覧ください。



# To Our Shareholders

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。第82期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の業績につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 さかもと しょうご 坂本 尚吾



# Top Interview

## トップインタビュー

### 第82期(2026年3月期)の業績について

#### 減収・最終減益も、世界3極体制で 営業・経常増益を確保

2026年3月期は、売上高は前期比で減少し、親会社株主に帰属する当期純利益も減益となりました。一方で、世界3極体制のもと海外事業の業績が大幅に改善し、営業利益・経常利益は増益となりました。

国内鉄鋼事業は、人手不足などを背景とした建設需要の低迷に加え、第4四半期に鉄スクラップ価格が急騰するなど、厳しい事業環境が続きました。製品価格の引き上げに努めましたが、需要環境の影響などから市況の上値は重く、減収減益の結果となりました。

一方、海外鉄鋼事業は、前期の赤字から一転、61億円の営業利益を計上しました。ベトナムでは、旺盛な鋼材需要に各拠点とも生産数量増で応え、これまで進めてきたコスト削減の成果も相まって大幅な増益を実現しました。北米では、米国拠点が下期に黒字転換し、カナダ拠点も安定した需要環境の下、前期に続き高水準の利益を上げました。

環境リサイクル事業は、下期には一定の回復が見られましたが、医療廃棄物処理分野での価格競争の影響を受け、前期比で減収減益となりました。

### 第83期(2027年3月期)の見通しについて

#### 国内は減益予想も海外はベトナム・ 北米とも堅調を見込む

2027年3月期は、中東情勢の緊迫化など、事業環境の先行きを見通しにくい状況が続いています。エネルギー価格や原材料価格のさらなる上昇が懸念される中、国内鉄鋼事業は当期対比減益を余儀なくされる見通しですが、鉄筋のトップメーカーとして健全な市場形成に貢献し、足元を固めながら、将来に向けた取り組みも進めてまいります。

海外鉄鋼事業では、ベトナムは経済成長を背景に鋼材

需要の拡大が続く見通しであり、北部拠点の新工場も順調に稼働していることから、さらなる業績伸長を見込んでいます。北米は、米国拠点の黒字継続、カナダ拠点における高付加価値品の拡販などにより、堅調な推移を想定しています。

これらを踏まえ、次期は連結売上高3,600億円、連結営業利益160億円、連結経常利益140億円、親会社株主に帰属する当期純利益90億円を見込んでいます。

### 中期経営計画「NeXuS II 2026」の進捗について

#### 成果と課題を次期中計につなげる 最終年度へ

2027年3月期は、現在進行中の中期経営計画「NeXuS II 2026」の最終年度です。国内の事業環境が厳しい中、これまで海外で進めてきた施策の成果により、グループ全体では安定的な利益を計上できるようになってきました。しかしながら、計画策定時に目標として掲げていた「経常利益250億円」には及ばない状況です。この2年間の成果と課題を検証し、各事業における利益伸長を目指してまいります。

次期の最大のテーマは、米国拠点における大規模設備投資の着実な実行です。今年1月、米国の良好な事業環境を背景に、当初計画を一部修正し、生産能力の拡大を決定しました。投資額は327百万ドル（約500億円）、製鋼・圧延一貫生産の開始は2027年10月を予定しています。次期中計、そして将来の成長に向けた重要な布石と位置付けています。

国内では、最大の需要地である関東地域でのプレゼンス向上を図るとともに、「エシカルスチール」を軸としたブランド戦略を積極的に進めます。地産地消が中心の鉄筋の事業において、地域を越えた需要の獲得と付加価値向上を図ってまいります。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 30年の歴史と高い競争力でベトナムとともに成長する共英製鋼グループ

力強い経済成長を続けるベトナム。

社会基盤の整備が進むなか、鉄鋼需要は着実に拡大しています。

当社グループは“KYOEI”ブランドで社会のニーズに応え、各地で歩みを重ねています。

## ベトナム・イタリー・スチール社(VIS社)

VIS社は、2017年に共英製鋼のグループ会社となりました。ベトナム北部の主要都市ハイフォン市と首都ハノイ近郊のフンエン省に工場があります。前身は国営企業であり、鉄筋を主力として国内の主要な建設プロジェクトに幅広く採用されてきました。

2025年6月には、ハイフォンの製鋼工場の隣に新しい圧延工場が完成し、生産効率とコスト競争力が大きく向上しました。これを武器に、厳しい競合環境を勝ち抜いていきます。



社長  
米村 泰宏

VIS社の自慢は、新工場に導入したベトナム最速を誇る最新鋭の高速圧延ラインです。高い生産性と安定した品質を両立し、これまで築いてきたお客様からの「品質No.1」の評価をさらに確かなものにしていきます。こうした先進的な設備環境は、社員の仕事へのモチベーション向上にもつながっています！

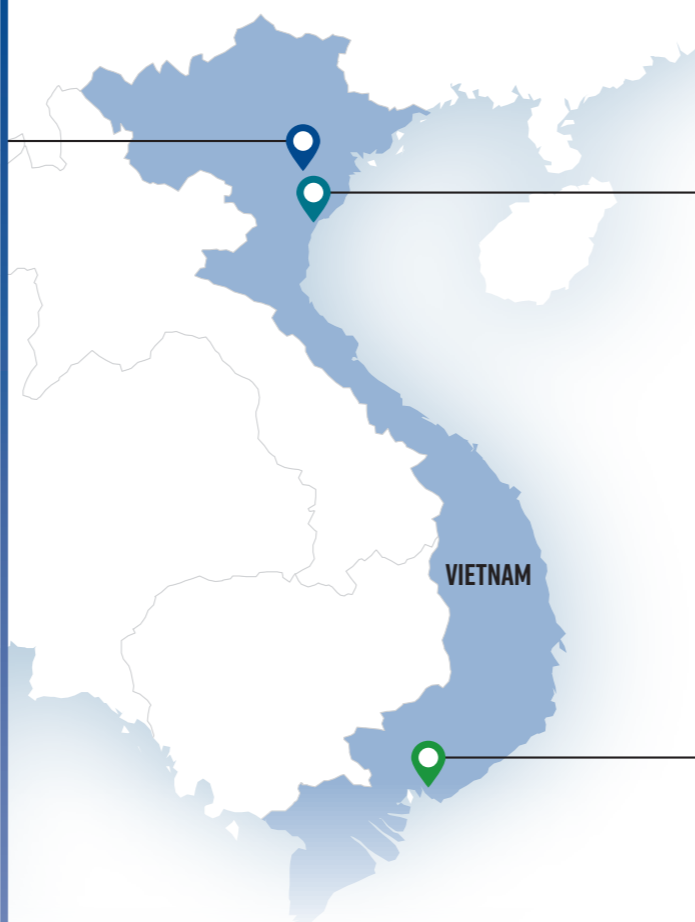


▲新圧延工場



▲圧延ライン

VISの  
ここが  
自慢！



## キョウエイ・スチール・ベトナム社(KSVC社)



社長  
安田 真

KSVC社は、2012年に北部のニンビン省で設立されました。製鋼工場を持たず、外部より半製品(ビレット)を調達して製品を生産する単圧工場です。低コストかつ小回りの効く操業で、鉄筋・線材を生産しています。旺盛な需要の下、2025年度は過去最高の生産量、販売量、利益を記録することができました。

昨年導入したマスコット「Beemurai (ビームライ)」を活用して、認知度向上を図りながら、住宅向けの販売を活性化させます。

KSVCの  
ここが  
自慢！



◀社員旅行での集合写真

KSVC社の自慢は「チームワークの良さ」です。ブランド認知度向上へ向けて、部門横断のプロジェクトを立ち上げ、マスコットの発案から発表イベントの開催まで全社一丸となってやり遂げました。また、家族サポート休暇制度の創設など福利厚生制度の充実も進めています。これらの取り組みを通じて、さらに働きやすい職場環境を作っていきます！

## ビナ・キョウエイ・スチール社(VKS社)

VKS社は、1994年、南部ホーチミン市の郊外において、国営企業との合併会社として設立されました。電力インフラが整わない中、圧延工場のみでスタートし、“日本品質”で市場の信頼を獲得。2015年に製鋼工場と第二圧延工場を新設し、今では当社グループ最大の生産拠点です。

VKS社の鉄筋は、当地での信頼性も高く、多くのお客様にお選びいただいています。個人住宅のほか、ホーチミン都市鉄道(地下鉄)など、社会を支えるインフラにも多数採用されています。



第一副社長  
福西 英和

VKSの  
ここが  
自慢！



▲チーバイ山頂上

30年以上の歴史があるVKS社は、長く勤めている人を筆頭に、従業員同士のつながりが非常に強いのが自慢です。先日は従業員有志で地元のチーバイ山に登り、安全祈願をしてきました。今後も人を大切にする企業文化を醸成し、従業員のさらなるエンゲージメント向上を目指します！



## VIS社新工場建設プロジェクト体験談！

2022年11月から約2年半かけて完成したVIS社の新圧延工場。投資総額約120億円の大型プロジェクトにリーダーとして携わり、現場の指揮をとった中堅社員の体験談を聞きました。

ゼロからの新工場建設において、業者選定から設計、工事管理まで現場の先頭に立ちました。異文化の中で徹底したのは、「相手の話を根気よく聞く」という基本的なこと。その積み重ねがチームメンバーからの信頼につながりました。困難も多くありましたが、そのたびに仲間と密にコミュニケーションを取り、一つひとつ乗り越えました。完成した工場で最初の製品が生まれた瞬間、全員でガッツポーズをした光景は忘れられません。



プロジェクトリーダー兼  
製造部長(当時)

畑 大樹



## ベトナムのおもしろい商習慣

ベトナムで個人が戸建て住宅を建てるとき、「施工自身が鉄筋メーカーを指定する」という鉄筋メーカーとユーザーが直接つながる慣習があります。そのため、CMや看板など、鉄鋼メーカーの広告が多くみられます。その中でベトナムでの信頼度が高い“日本品質”というブランド力は大きな強みです。VKS社はSNSを活用した情報発信、KSVC社はオリジナルマスコット「Beemurai」をあしらったラッピングバスの運行など、当社グループでも認知度向上にも取り組んでいます。



▲「Beemurai」は「Bee(蜂)」と「Samurai(侍)」をかけたマスコットです。

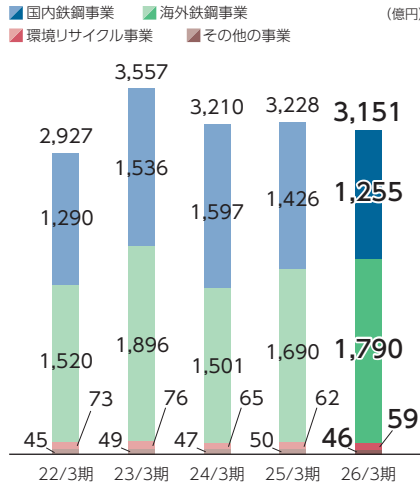


▲街を走るKSVC社のラッピングバス

売上高

3,151 億円

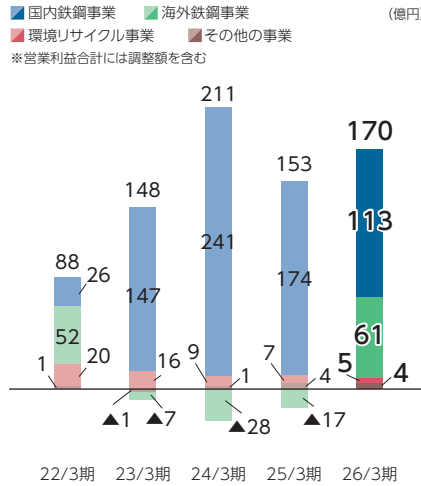
前期対比 ▶ 2.4% 減



営業利益

170 億円

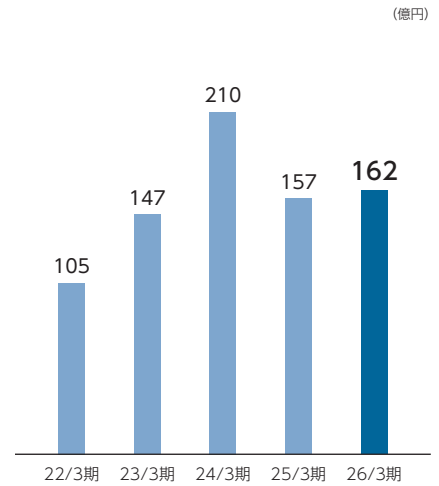
前期対比 ▶ 10.7% 増



経常利益

162 億円

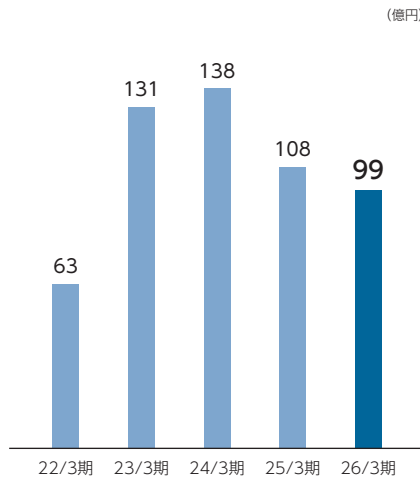
前期対比 ▶ 3.0% 増



親会社株主に帰属する  
当期純利益

99 億円

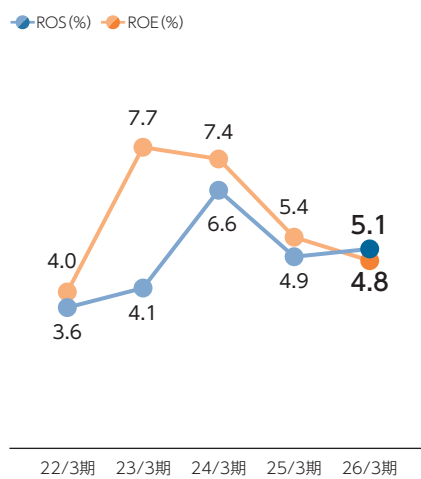
前期対比 ▶ 8.6% 減



売上高経常利益率 (ROS)  
株主資本利益率 (ROE)

ROS 前期対比 ▶ 0.2Pt 増

ROE 前期対比 ▶ 0.6Pt 減

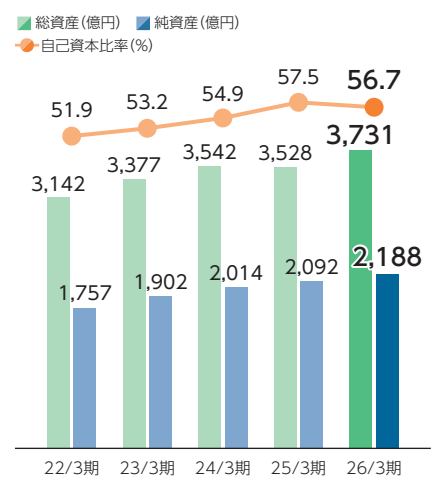


総資産／純資産／自己資本比率

総資産 前期対比 ▶ 5.8% 増

純資産 前期対比 ▶ 4.6% 増

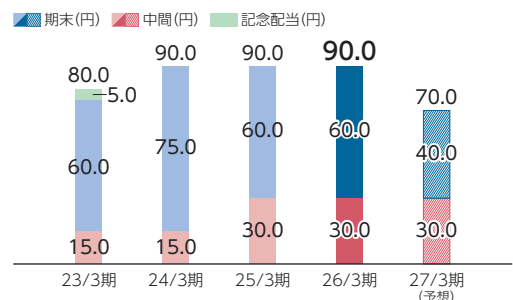
自己資本比率 前期対比 ▶ 0.8Pt 減



当期の配当および次期の配当予想について

当社は「連結配当性向30～35%」を目途として配当することを基本方針としています。

当期の配当につきましては、期末配当を60円とし、既を実施した中間配当30円と合わせて90円といたしました。次期の配当につきましては、米国での設備投資に係る資金需要等を踏まえ、中間配当30円、期末配当40円の年間70円(配当性向33.8%)を予定しています。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。





「エシカルスチール」製の自転車ラックを寄贈

山口事業所が以前より産業廃棄物の処理を受託している山陽小野田市立山口東京理科大学に対し、新校舎建設を機に「エシカルスチール」製の自転車ラックを寄贈しました。今後も地域社会への貢献およびエシカルスチールの理念訴求の取り組みを進めていきます。



STOCK INFORMATION

株式情報

株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数	150,300,000株
発行済株式総数	44,898,730株
株主数	32,931名
大株主	

株主名	持株数	持株比率 <sup>※1</sup> <sub>※2</sub>
日本製鉄株式会社	11,592,932株	26.68%
高島 秀一郎	4,347,460	10.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,671,400	6.15
高島 成光	2,233,000	5.14
三井物産株式会社	1,470,000	3.38
合同製鐵株式会社	1,347,000	3.10
株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・エア・ウォーター株式会社退職給付信託口)	1,308,900	3.01
株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・エア・ウォーター防災株式会社退職給付信託口)	692,000	1.59
エア・ウォーター株式会社	691,500	1.59
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	689,000	1.59

※1 持株比率は、小数第3位以下を四捨五入して表示しています。  
 ※2 持株比率は、自己株式(1,439,844株)を控除して計算しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	3月31日(その他必要がある場合は、あらかじめご告知いたします。)
期末配当	3月31日
中間配当を行う場合	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031(土日休日および12月31日~1月3日を除く9:00~17:00)
公告の方法	電子公告とします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引市場	東京証券取引所プライム市場
証券コード	5440

CORPORATE PROFILE

会社情報

会社概要 (2026年3月31日現在)

商号	共英製鋼株式会社 (KYOEI STEEL LTD.)
設立	1947(昭和22)年8月21日
資本金	185億16百万円
従業員数	4,068名(連結:正社員)
主な事業	(1) 鋼片、各種鋼材、鉄鋼製品の製造・加工・販売 (2) 一般・産業廃棄物、医療廃棄物の収集・運搬・処分業および自動車リサイクル事業ならびに廃棄物再生資源化事業 (3) 鉄筋・ネジ節鉄筋加工と組立工事
関係会社	計30社

役員 (2026年6月24日現在)

代表取締役会長	高島 秀一郎	取締役(社外)	松家 優香子
代表取締役社長	坂本 尚吾	取締役(社外)	小口 光
取締役・副社長執行役員	菅 哲哉	常勤監査役	前田 豊治
取締役・上席執行役員	林 進	常勤監査役	中谷 進亮
取締役相談役	廣富 靖以	監査役(社外)	介川 康弘
取締役(社外)	川邊 辰也	監査役(社外)	宗岡 徹
取締役(社外)	船戸 貴美子	監査役(社外)	竹内 洋平

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株主優待制度について

保有株式数と継続保有期間に応じ、QUOカードをお贈りいたします。

保有株式数	継続保有期間	
	1年未満	1年以上
100株以上1,000株未満	1,000円分	2,000円分
1,000株以上	2,000円分	3,000円分

「継続保有期間1年」の認定については、毎年3月31日を基準日として、当社株主名簿に、同一株主番号で3回以上連続して100株以上の保有株式数が記載された株主様を対象とします。



IRサイトのご案内

IRニュースや決算資料などを公開しています。ぜひご覧ください。  
<https://www.kyoeisteel.co.jp/ja/ir.html>



株主アンケート

みなさまの声を聞かせください

<https://koekiku.jp>

抽選でギフト券を贈呈!



☎ コエキク サービス運営会社:株式会社プロネクサス お問い合わせ:コエキク事務局 koekiku@pronexus.co.jp